

No	
----	--

入

1 大学	広島大学		催	■対 広島キャンパス	
				□オンライン 同 . .	
				□その他	
	式名副	命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習		当年	1, 2, 3
	学問分	号	33	名学	受入学年
3 当員名					
4 単位	2 単位	5 学	前	中	
6.	令和5年 9 5		令和5年 9 8		
7. 基 の	1. 「基 を必 とする 」 ②. 「基 を必 としない 」				
8. 募 人	15 人	9.	受 希 が定員を えた場合は 受 希 の内容を した上で、低 学年の学 体 を 属大学の に かす可 が い から する。		
10 内容・	<p>広島大学 学 属 場では 太 の みを受けて てた作 で家 を い 家 の みとしてミルクや を している。「命の尊厳を する フィールド学 」は 場とともに や を加工する大学の 品 実 実 と動 の 密実 圃場を して 員と 場 員の協力により実 している。 では受 が と家 と土の循 のなかで の を して 品に加工していく 程を 義と実 を じて学び と と 境の わり 動 の福祉 SDGs 他の き の命によって かされている人 の 存在について える機会を 供することを 的としている。</p> <p>※ は新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候不良等により の 中止や内容の一 変更 程の変更等を行うことがあります。また受 希 が 名以下の場合は を中止する場合があります。 スケジュール 予定</p> <p>9/5 条 合 場へ移動しガイダンス 場の 学と の 明 家 の福祉 場</p> <p>9/6 午前 家 のエサやりと乳搾りを体 する。 人と動 の 係 と 境 SDGsについて える 午後 家 の体の仕組みを る 学 。 家 の命と について える。体 発表会の準備をする。</p> <p>9/7 木 午前 家 のエサやりと乳搾り体 をする。 家 の命を支える大地の働きを探る。 午後 家 の命を実感する。牛の体温と心拍 測定。 牛乳の とバター作りをする。 体 発表会の準備をする。</p> <p>9/8 午前 体 発表会 学 義室 昼 に 条 散</p>				

11	受 態度 発表 受 後のレポートで 価する。フィールドを した なので 場の 則を守れない受 は不可となる可 があります。
12 別	の屋 2000 円程度 を現地で徴収します。 会場 までの旅 中の宿泊 宿泊 の一 を大学で する予定です は自己 です。

---



---



---

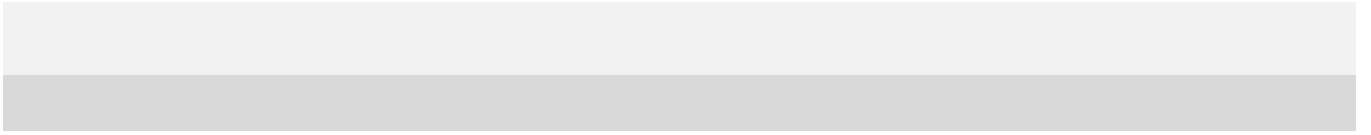
13 その他特 事

14 社会人受	等履修 単位付与 として受け入れ	可	否
	聴 単位 定不 として受け入れ	可	否

※ 禍 影響

ラ 同 録画 資料













#### (4) 受講生の負担金額

・受講生 1名当たり、4,300円

(内訳)

事項	単価(円)	数量・単位	3泊4日(円)
ホテル宿泊料	732	1人	732
食事代(朝)	756	3食	2,268
食事代(昼)	650	2食	1,300
計			4,300

※ホテル宿泊料は大学宿泊施設利用時と同額とした

※夕食は学食を利用し、各自が実費を支払った

## (5) 演習風景

乳 体

作

課題発表会

## (6) 成績評価

ネットワーク中 による~~一位互一制~~に づく「 の を する フィールド 」に係る 価を以下のとおり った。

### (1) 成績評価方法

- ・ レポートで 価する。また の 全と健 にかかわる中の 則を れない は不 とする。

### (2) 成績評価基準

- ・ 優 び不 の 価とする。
- ・ 価の は で し 以上を「 」を「優 」を「 」を「 」とし は「不 」とする。

## (7) 受講生によるアンケート評価

### ◎「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」アンケート集計結果

受講者数：計 12 名

#### I 本取組に関する共通の質問

I 【 について】

I \_\_\_\_\_ コース

- 
- 
- コミュニティ
- 
- 
- 
- 
- 

I \_\_\_\_\_

- ● なし
- ●

I \_\_\_\_\_ この 以 に これまでにフィールドを した を けた があるか

ある \_\_\_\_\_ ない

↳ I \_\_\_\_\_ それはどの か( )

- ●
- ● なし

I 【この に するにあたっての について】

の こと を して ったか

- ガイダンス ● ネット
- パンフレット なし ● その
- から なし

I 【この に した について】

I も い は

- には い だから なし
- だから
- が できるから
- の に するから なし
- と について べるから
- い を たいから
- のことを りたいから なし
- の と できるから なし
- が するから なし
- おもしろそうだから
- その

I 二 に い は

- なし
- なし
- なし
- なし
- なし
- なし
- なし
- なし
- なし
- なし
- なし

I 【 で を けた 】

I 今 したフィールド に する は・・・

- にはない
- する がある
- わからない

I 他 の の を できて・・・

- とても かった
- まあまあ かった
- なし
- あまり くなかった
- く くなかった
- なし

I 【他 の との交 について】

I この は を に しています。この は・・・

- すぎる
- 丁 い
- なすぎる

I 他 の と じ を けたことは・・・

- とても かった
- まあまあ かった
- なし
- あまり くなかった
- く くなかった

I 他 の と交 は・・・

- にできた
- まあまあできた
- なし
- あまりできなかつた
- くできなかつた

I 【 の について】

この は の 中 で の から されている

I の せは だけの よりも する上で・・・

- とても である ● あまり でない
- まあまあ である なし ● く でない なし

I のうち も かったものは・・・

- なし ● なし
- 

I の の は・・・

- すぎる ● すぎる
- 丁 い

I 【 に して】

I の たものを えると は・・・

- かなり い ● やや い なし
- やや い ● かなり い なし
- 

I から えて 事は・・・

- かなり ● やや<sup>↑</sup> なし
- やや ● かなり<sup>↑</sup> なし
- 

I から えて は・・・

- かなり ● やや<sup>↑</sup> なし
- やや ● かなり<sup>↑</sup> なし
- なし

I をもっと くしても 事と を くしてほしいか

- そう う なし
- そう わない
-

I 【 フィールド について】

I この の れは・・・

- とても かった ● あまり くなかった
- まあまあ かった ● く くなかった なし

I この によって フィールド の さや さを った

- とても を った ● これまでと わらない
- まあまあ を った なし

I この を して べ と の について・・・

- とても えるようになった ● これまでと わらない なし
- まあまあ えるようになった

I この によって べ と の について・・・

- とても えるようになった ● これまでと わらない なし
- まあまあ えるようになった

I この によって わが の の について・・・

- とても えるようになった ● これまでと わらない
- まあまあ えるようになった

I この によって や が・・・

- とても まった ● これまでと わらない
- まあまあ まった

I この によって これからの が・・・

- とても まった ● これまでと わらない なし
- まあまあ まった

I 他 の と交 することによって コミュニケーションスキルが・・・

- とても まった ● これまでと わらない
- まあまあ まった

I グループ 位の によって チームワークに する が・・・

- とても まった ● これまでと わらない
- まあまあ まった

I グループ 位の によって リーダーシップをとる が・・・

- とても まった
- まあまあ まった
- これまでと わらない

I する の に べて・・・

- かなり
- やや
- 
- やや~~ず~~ なし
- かなり~~ず~~ なし

I 今 の を して 今 人や に を・・・

- とても めたい
- まあまあ めたい
- あまり めたくない なし
- く めたくない なし

I 以 にも他 の を できる 会を・・・

- とても やしてほしい
- まあまあ やしてほしい
- に やす はない なし

I で したことは の を する上で・・・

- とても になった
- まあまあ になった
- あまり にならなかった
- く にならなかった

**II 授業に関する質問（この演習は，講義，実習，発表等から構成されている）**

II 【今 の に する質問】

II も いと じた とその

- ガイダンス なし
- の なし
- から、 ・ について える
  - ・ の える について えるきっかけとなったため。
  - ・ が で んでいることと びつけて えることができたから。
- から、 の について える
  - ・ の と が されていることを ったから。
- ニワトリ の の みを る
  - ・ しながら丁 に かりやすい で しやすかった。
  - ・ めての で しかったからです。
  - ・ ニワトリには が つあることを れたから。
- の を える の きを る なし
- 乳の とバター作り
  - ・ は乳 品が好きで 乳の やバターの作り を ることができ かったから。



## II も 解しにくかった とその

- ガイダンス
  - ・ をする前だったのでイメージがつきにくかった。
- の
  - ・ より、 そのものが しかった。とても えることができた。
  - ・ 形式の が十 でなかったから。
- から、 ・ について える
  - ・ が きいし、 感<sup>じ</sup>していないから。
  - ・ 化 が くでてきたから。
  - ・ エネルギーの循 の など専 な内容もあったため。
- から、 の について える
  - ・ 具 な内容や 字が く、 かしにくい だったため。
- ニワトリ の の みを る
  - ・ ではなかったので、 し しかった。
- の を える の きを る
  - ・ の だったため、 するのに がかかったから。
  - ・ だと しにくく、 の は かりやすかった。
- 乳の とバター作り なし
- になし

## II 【今の に する質問】

### II も いと じた管 作 とその

- 乳 り
  - ・ の さがあった。
  - ・ で一 はやってみたかったから。
  - ・ のことも から守る があったり、 乳 を付けるのが しかったからです。
- 乳 への
  - ・ える にがつついてくれて可愛かったから。
- への
  - ・ なぜ けているのか、エサの とその など れた。
  - ・ とのふれあいが印 に った。
  - ・ を で て、 に きさの なる を 察し、ヤギの ちゃんと れ えたか<sup>工</sup>ら。
- への
  - ・ と れ う 会<sup>あ</sup> かったから。

## II も 解しにくかった管 作 とその

- 乳 り
  - ・ を使うのが し ったから。
  - ・ の乳が出る みも りたいと えた。
- 乳 への
  - ・ のバランスや など えられていて、 しかった。
  - ・ の で、 くの があり、 し しかった。
  - ・ がうるさく、 の が こえにくかったから。
- への
  - ・ いる が かった。
  - ・ ヤギやひつじが 々いたので一 一 することができなかつた。 もあまり くまでなかつた。
  - ・ は ができなかつたから。
- への
  - ・ の や、 厚 の原 も りたかつたため。
- になし

## II も いと じた とその

- ニワトリ の の みを る
  - ・ き の の をすべて 々まで たのは めてで、卵ができていて、おもしろかつた。
  - ・ ニワトリの の の や 、 みを り、 らないことばかりだったので でかつた。
  - ・ ニワトリの する上での 性を ぶことができた。
- の を 感する の と心 定
  - ・ 心 の や の などおもしろかつた。 も より くて いた。
- 乳の とバター作り
  - ・ どの 乳でも しかったし、 乳が好きだから。
  - ・ クイズがあつたから。
  - ・ バター作りは だつたが、 乳の がクイズ形式で かつた。

## II も 解しにくかつた とその

- ニワトリ の の みを る
  - ・ かつたけど、もともとの が ないので、 し だつた。
- の を 感する の と心 定
  - ・ の心 定で と での いが上 くわからなかつた。
  - ・ の や の もあるが、 が こえていなかつたから。
  - ・ もいるし 制 もあるので、 い かけられなかつたから。外では がきれなかつた。
- 乳の とバター作り なし

## II 【今の会および準備にする質問】

### II の準備は・・・

- とてもできた
- まあまあできた
- 
- あまりできなかった
- くにできなかった

### II 他人の内容と比較してのは・・・

- とてもできた
- まあまあできた
- 
- あまりできなかった
- くにできなかった

### II のための基礎的なが・・・

- とても について
- まあまあ について
- 
- あまり につかなかった
- くににつかなかった

### II 今の準備を含むは今のに・・・

- とても役 っ
- まあまあ役 っ
- 
- あまり役 たない なし
- くに役 たない

### II の 点と改善点

い

- の 場で でき、 ならではの やその が しく ことができ、とてもおもしろかった。べば ぶほど、 が いた。まで についてばかり勉強してきたので、 について べたのはとても な だった。 や の 々、 場で いている の 々も、 たちに しつつ、 間に えて下さり、 しく ぶことができた。フンや尿の匂いも に っていた以上に にならなかった。ケガすることなく 事 変わった。

- に している に な を くことができた。 ができて、 と れ えた こと。 の 徒と できたこと。 べ を く の ・ の 労力があることを んだ。

- に れる 会が工く、 を 感じる ことができた。
- が く とたくさん れ うこと<sup>じ</sup>ができる。 やつなぎなど に な を 意 してくれる。

- ニワトリの を に ることで たちが べている はどこの で、卵はどう やってできているのか れて かった。

- じて で、 もすごく かった。お や塩タブレットを 意して けたのはあり がたかった。

- が く、 で 感<sup>じ</sup>するため座 より しやすかった。

- ・ の 序がとても かりやすくて いと いました。コンビニ ってくれてありがたかったです。
- ・ 士会 がホテルみたいな備え付けでとても かった。

善

- ・ もうちょっと と れ える 工が しいなと った。
- ・ 、ニワトリの など や の匂いが強い は、マスク の めを促すアナウンスがあっても いと う。「任意ですけど 」みたいな
- ・ 前にもっと しくスケジュールを いてほしい。 がある、フンで れる可 性ありなど)
- ・ えや休 などがもう しあるとよい。
- ・ 休 や えの などが めに られていて、もう し くて も いのかなど いました。
- ・ 士会 に まるといっ も しかったので は しているが、宿 場 が 定したで、 めて宿 希 を して しかった。 がやや なかった。いつもより を かけたこともあり、 りなく感じたが、 していた もいるので、あくまで の感<sup>じ</sup>で しかないかもしれない。
- ・ の が かった。 にはパンくらいで十 だった。 には 乳が みたかった。
- ・ の夕 を て う にしてもらえるとよかった。
- ・ 外出 であることがとても不便<sup>↓</sup>でした。

## II 解できなかつた点

- ・ は 以 だったので、 の器官の は、よくわかっていないままのものもあった。わからない には があつたので、困ってはいない。
- ・ の5つの 2 快<sup>↑</sup>からの と5 恐怖と 圧からの の い。放牧した は どうやって元の場 に帰るのか。
- ・ の情報やマメ についての が し なかった。
- ・ サイレージ。

## II についての

- ・ して かった。 の から 場の は いていて、ずっと ってみたかったため、 の を して入ることができて かった。
- ・ 本 に しく ぶことができました。もう一 受 したいくらいです。皆さん優しく、 間にも嫌な顔せず丁 に えて下さり、ありがとうございます。またご縁があれば、よろしくお願ひいたします。
- ・ では受 は しかいなかったが、後 に 飛び出して できるよー!と めたいです。3 4 でTAの と には お世 になりました。
- ・ とても です。同じ第一 産 を ぶ として共 が く られ、 にも にも感謝<sup>じ</sup>を忘れずに していきたいと いました。4 ありがとうございます。

- やヤギがあたりまえだけど、あつたかくて好き。 を 感した。
- く う を専攻していて がないものにも優しくわかりやすく ・応 して下さって本 に感謝しかないです。ありがとうございました。とてもいい経 でした。
- 3 4 どとても充 した になった。この びは一 の財産になると った。 が かりやすくて、 できた。 やTAさんが優しく してくれて、 問の返 も丁 でありがたかった。
- や の について ることができたり れ ったり びた一 で、 に や の 切さを ぶことができ、非常に い経 になりました。3 、 や をしていただいた、準備や ・ のサポートをしてくださったTAの 々、本 にありがとうございました。
- が まり、 後に できるものや専 なことなどを ぶことができました。 の をという え をもつ がこの世にいることを び、 を め、ベジタリアンの たちとも を めていきたいと えた。
- に 場に て れ って 悉ことができ て かったと いました。